

一般社団法人 おしかパブリックサービス

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録(作成していないため不添付)
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 29 年 7 月 5 日

市所管部署 石巻市 牡鹿総合支所地域振興課

2 法人名称等

法人名称	一般社団法人おしかパブリックサービス
法人所在地	石巻市 鮎川浜大台37番地2
設立年月日	平成 16 年 2 月 20 日
代表者職・氏名	代表理事理事長 川田 靖夫

設立目的・経過

牡鹿半島地域内において生活環境の改善、維持向上及び地場産業の振興等に関するサービスを総合的に提供し、街づくりの推進に寄与することを目的とする。

3 定款上の事業内容

- (1) 公営乗合バスの車両管理及び運転業務又は運行業務
- (2) 学校給食の運搬業務
- (3) 家庭ごみの収集運搬及び中間処理業務
- (4) 地域公共施設の管理業務及び保守業務
- (5) 道路その他用地の除草、刈払い、支障木の伐採等の業務

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
3,550 千円	3,000 千円	84.5 %	有限会社鮎川観光タクシー	100 千円	2.8 %
			鮎川商工業株式会社	100 千円	2.8 %
			個人	50 千円	1.4 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	2	2	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	3	3	3
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	2	2	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	20	24	24
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	22	26	26
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

様々な住民サービスをとおして牡鹿地域における生活環境の向上、就業機会と雇用創出による地域の復興に貢献することを目指す。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
石巻市委託業務の売上高		目標計画	96,000	98,000	100,000	102,000	104,000
		実績	100,685	103,177			
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
民間委託業務の売上高		目標計画	6,000	5,000	4,000	4,200	4,400
		実績	4,987	4,211			
目標・指標の説明			平成28年度以降の目標額については、一般の除草作業等の増減を見込むものである。				
目標未達の場合の要因分析			震災の影響による人口減少、住宅整備の遅れ等により草刈り業務の受注等が思うように増加しなかった。				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
牡鹿地区一般廃棄物収集運搬業務	東日本大震災で従来からの公共サービス事業提供が困難な中、経常利益を計上することが出来ている。公共事業の復興状況に緊密に関係するが、今後は更なる受注増加が課題である。		
事業の公共性、公益性	石巻市委託業務		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
民間除草等業務	東日本大震災で多くの住民が被災している中で、経常利益を計上できている。地域住民の生活環境復旧の状況に大きく関係するが、今後更なる受注増加が課題である。		
事業の公共性、公益性			

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	一般社団法人おしかパブリックサービス
------	--------------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動資産	14,872	16,883	2,011	18,760	1,877
うち 現金・預金	5,088	6,280	1,192	8,734	2,454	
固定資産	1,595	484	▲ 1,111	1,577	1,093	
(1) 基本財産	1,595	484	▲ 1,111	1,577	1,093	
(2) 特定財産			0		0	
(3) その他の固定資産			0		0	
資産の合計	16,467	17,367	900	20,337	2,970	
貸方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減	
流動負債	8,809	8,735	▲ 74	8,438	▲ 297	
うち 短期借入金			0		0	
固定負債			0	2,856	2,856	
うち 長期借入金			0	2,856	2,856	
負債合計	8,809	8,735	▲ 74	11,294	2,559	
正味財産	7,659	8,632	973	9,043	411	
指定正味財産	3,550	3,550	0	3,550	0	
うち 基本財産への充当額			0		0	
うち 特定資産への充当額			0		0	
一般正味財産	4,109	5,082	973	5,493	411	
うち 基本財産への充当額			0		0	
うち 特定資産への充当額			0		0	
負債・正味財産の合計	16,468	17,367	899	20,337	2,970	

正味財産増減計算書	科目	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	1,059	974	▲ 85	411	▲ 563
経常増減の部	1,131	1,052	▲ 79	624	▲ 428	
経常収益	101,531	105,703	4,172	107,911	2,208	
経常費用	100,400	104,651	4,251	107,287	2,636	
評価損益等計			0		0	
経常外増減の部	▲ 72	▲ 78	▲ 6	▲ 213	▲ 135	
経常外収益			0		0	
経常外費用	72	78	6	213	135	
一般正味財産期首残高	6,600	7,659	1,059	8,633	974	
一般正味財産期末残高	7,659	8,633	974	9,044	411	
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	
指定正味財産増減額			0		0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	
正味財産期末残高	7,659	8,633	974	9,044	411	

（※）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	事業活動によるキャッシュ・フロー	1,877	1,342	▲ 535	2,786
税金等調整前当期利益	1,131	1,052	▲ 79	624	▲ 428
減価償却費	592	1,261	669	2,094	833
貸倒引当金の増加額			0	59	59
売上債権の増加	▲ 2,003	▲ 811	1,192	562	1,373
その他の増減額	2,229	▲ 88	▲ 2,317	▲ 475	▲ 387
法人税支払い	▲ 72	▲ 72	0	▲ 78	▲ 6
			0		0
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,133	▲ 150	983	▲ 3,188	▲ 3,038
有形固定資産の取得	▲ 1,133	▲ 150	983	▲ 3,180	▲ 3,030
長期貸付けによる支出			0	▲ 8	▲ 8
			0		0
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	2,856	2,856
長期借入れによる収入			0	2,856	2,856
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	744	1,192	448	2,454	1,262
現金及び現金同等物期首残高	4,344	5,088	744	6,280	1,192
現金及び現金同等物期末残高	5,088	6,280	1,192	8,734	2,454

(※1) 支出は、マイナス記号(-)を付けて入力すること。

(※2) 負の数の場合は、マイナス記号(-)を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
委託料及び指定管理料	95,757	100,685	4,928	103,177	2,492
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）			0		0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名： 一般社団法人おしかパブリックサービス

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

流動資産の1,877千円増加は、委託業務の増加による事業収益によるものである。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
流動資産	1,877千円増加	委託業務の増加

2 損益計算書に関する補足

(1) 総括分析

経常収益の2,208千円増加は、牡鹿地区ごみ収集運搬及びおしか市民バス運行委託業務等の受注が増加したためである。また、経常経費の2,636千円増加は、外注費や減価償却費等の増加によるものである。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
経常収益	2,208千円増加	牡鹿地区ごみ収集運搬委託業務等の受注増加
経常費用	2,636千円増加	外注費や減価償却費等の増加

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

その他の増減額387千円減額は、おしかパブリックサービスの会計期間が3月締めのために発生する市委託業務の、4月以降支払い業務とのタイムラグにより生じるものである。また、有形固定資産の取得による支出3,030千円減少、長期借入れによる収入2,856千円増額は、網地島用のパッカー車購入によるものである。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
売上債権の増加	1,373千円増加	次年度会計期間の未払い金減による
その他の増減額	387千円減少	前年度会計期間の未収金増による
有形固定資産の取得	3,030千円減少	パッカー車の購入による
長期借入れによる収入	2,856千円増減	パッカー車の購入による

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額（単位：円）	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料（単位：円）	委託業務の内容
牡鹿地区ゴミ収集運搬業務	49,615,000	牡鹿地区の家庭ごみの収集運搬
牡鹿市民バス運行業務	28,035,504	牡鹿地区の市民バスの運行
牡鹿交流センター業務	15,012,000	牡鹿交流センターの受付、清掃等

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額（単位：円）	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：一般社団法人おしかパブリックサービス

担当部署名：牡鹿総合支所地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

自治体からの外部委託業務が業務の大半を占めていることから、民間からの委託業務の増加を図るため、これまで以上の業務努力が必要である。また、将来利益を計上し続けるためにも現在の業務を継続する一方、新たな分野の事業への参入も検討する必要がある。

（2）主要事業の成果、課題

成果として、牡鹿地区の公共サービスを担い地域の生活環境に大きく貢献している点は評価できる。ただ課題として、震災の影響による人口流失に伴い、従事人員の確保が難しくなっている点がある。今後、牡鹿地区の公共施設が再建されれば、新たな事業の創出も見込まれ、安定した人員の確保が必要となってくる。そのため人手不足の課題の解決に、より一層取り組んでいくことが求められる。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

財政の健全度を表す、正味財産比率は約44パーセントであり、H27年度の約49パーセントから若干減少した。今後も財政的に健全な状態を目指して取り組んでいく必要がある。支払い能力の安全性を表す流動比率は、約222%となっており、望ましいと言われている150%以上となっている。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

経常収益の2,208千円増加は、牡鹿地区ごみ収集運搬及びおしか市民バス運行委託業務等の受注が増加したためである。また、経常経費の2,636千円増加は、外注費や減価償却費等の増加によるものである。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローを見ると約144万円のプラスとなっているが、前年度の未収金減によるもので、年度内の未収金回収ができています。

投資活動によるキャッシュフローは、約3,038万円の減額となっているが、前年度に比べ設備投資など固定資産への投資を増やし、経営の安定を図る。

現金及び現金同等物は、約2,454万円増加しており、資金繰りが順調で経営状態が良いと判断できる。

(4) 市による財政・金融支援等

なし

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

法人の実施する事業には、十分な公益性が認められ、安定的に就業機会を提供するなど事業成果も評価できる。また、市からの補助金は受けておらず、経営の自立性は保たれているものと判断される。但し、業務の大半は、自治体からの委託が占めており、今後は、自治体の外部委託の減少も予想されることから、震災の復旧状況にもよるが経営安定のため、民間からの委託業務の受注増加に取り組んでいただきたい。